

# かかりつけ薬剤師になるために



～患者さんに寄り添った服薬指導～



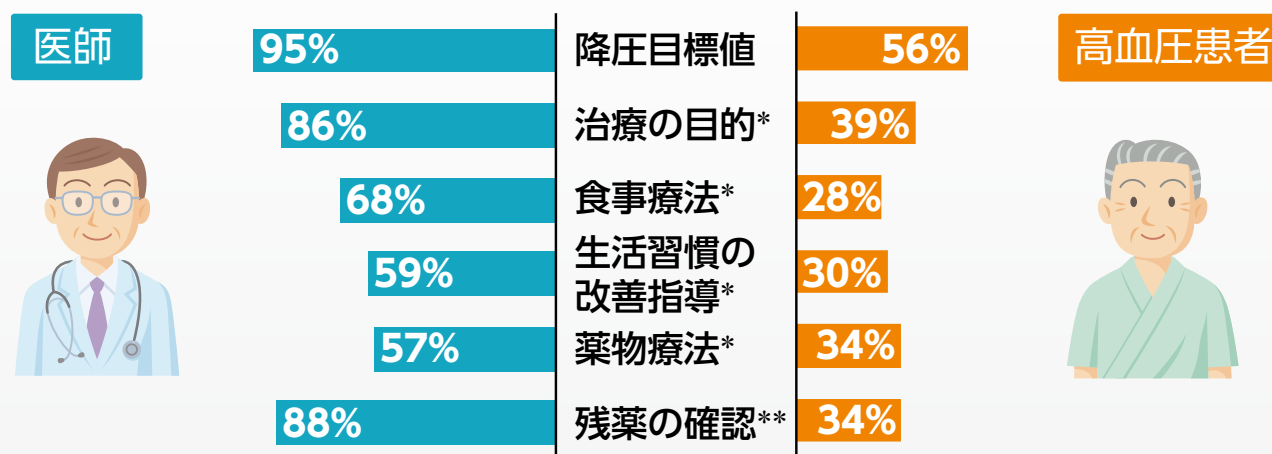
## 「かかりつけ薬剤師」に期待される役割



医師と患者さんの間のコミュニケーションギャップを埋め、服薬アドヒアランスを向上させるためには、薬剤師と患者さんのコミュニケーションが重要になります。

## 医師と患者さんの大きなコミュニケーションギャップ

医師および高血圧患者の高血圧治療に対する意識の実態調査  
(説明・確認した/されたと回答した人の割合)



\* 初診時の説明 \*\* 診療の都度+診察2～3回に1回  
西村誠一郎ほか：血圧25(5)：364, 2018より作図

# 服薬指導について

## ■かかりつけ薬剤師としての心構え

### 「薬の知識が豊富」は大前提

- 信頼できる薬剤師とは、なによりも薬や病気についての知識が豊富であること。
- 何を聞かれてもプロフェッショナルとしての確に答えられることが大前提です。



### 大切なのは患者さんに寄り添う気持ち

- 「治療はつらいけれども、一緒にがんばりましょう」という、患者さんに寄り添う気持ちが大切です。
- 患者さんにとって大事なものは、知識や経験以上に「人」なのです。



【参考】村尾孝子:患者さん対応のプロをめざす!「選ばれる薬剤師」の接遇・マナー 同文館出版:p38, 2017

## ■具体的なコミュニケーション事例(高血圧)

### 患者さんへの質問例 **生活習慣の確認:塩分制限**

食事で気を付けておられることは何かありますか?

食事はあまり気にしてないですね。でもラーメンのスープは残すようになりました

食事にも気を付けていらっしゃるじゃないですか~! ラーメンの塩分は約6gで、スープを残すと半分になりますよ

半分って食塩が3gってこと?そのくらいでも、塩分を減らすと効果ってあるの?

食塩を3g減らすと血圧が約3mmHg減るっていう研究もあるので、効果大ですよ~。ぜひ続けてください

#### 補足説明

##### <減塩の効果>

- 食塩摂取量を1日1g減らすと平均1mmHg強の収縮期血圧の低下が期待できるとされている。

##### <減塩の目安>

- 高血圧の人の食塩摂取量は、1日6g未満を目標とする。
- いきなり厳しい減塩にするのではなく、少しずつ摂取量を落とすと良い。



# ご用意しているコンテンツの一例

## ■コミュニケーション編

### コミュニケーション編

#### かかりつけ薬剤師の 役割と心がけ



#### かかりつけ薬剤師に必要な患者さんとのコミュニケーション能力

##### かかりつけ薬剤師に必要な能力

###### 傾聴力

患者さんの話をしっかり聴くことで、「知りたい」、「聞きたい」ことを十分に把握し、患者さんのニーズに沿って説明することが大切です。

###### 雑談力

患者さんの情報を一元管理する上で、生活背景、服薬状況、残薬の有無や体調変化など、患者さんを知るために重要となるのが雑談です。

###### 提案力

患者さんのニーズをくみ取り、患者さんの奥底にある欲求に沿った提案をしていくことが大切です。

どれだけ患者さんの満足度を上げられるかを常に意識しましょう。



【参考】河野 幸子 患者さん対応のプロをめざす「話せる薬剤師」の巻頭 マナー 同文館出版 p42, 2017

## ■疾患治療編

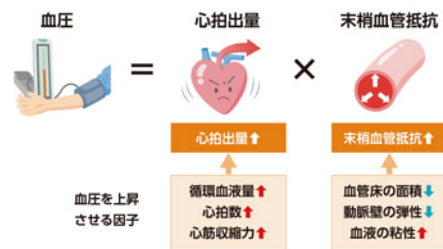
### 疾患治療編

#### 振り返り高血圧



#### 血圧とは

血圧とは、心臓から全身に送り出された血液が血管の壁を押し出す圧力です。血圧の値は、心臓から押し出される血液量（心拍出量）と、血管の収縮の程度やしなやかさ（血管抵抗）によって決まります。



医療情報科学研究所 編集：岡田がみえる vol.2 第4版 メディックメディア：p314, 2017年制作

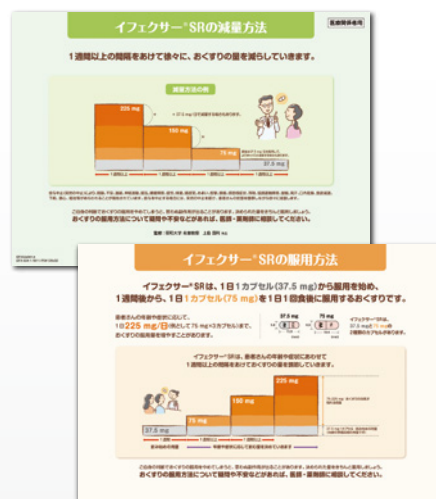
## 服薬指導にお使いいただける資料について

### ●患者さん提供用資料



患者さんにお渡しいただける資料を多数そろえております

### ●服薬指導サポート資料



服薬指導される際に患者さんにお見せいただける資料もご用意しております

## Memo

担当者名

---

連絡先

---

---

---